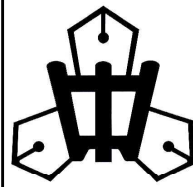



 根山麓

 学愛磨
 向友錬
 〔校訓〕

 【キャッチフレーズ】
 こう学，しゅう中，くり
 一石アップの小宿中
 【向学に燃え意欲を持ち集中して物事に
 挑みクリーンアップに取り組む小宿中】

夏休みこそできること

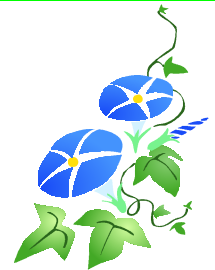
校長 前泊 勝利

いよいよ夏休みです。大きな事故等がなく1学期が終了できます。保護者や地域の皆様の教育活動へのご協力・ご支援有り難うございました。

夏休みは夏季休業課題がありますが、学期中にはなかなかできないことを体験してほしいと思います。1日中、音楽を聴いたり楽器を弾いたりとか、外で絵を描いたり自然観察をしたりとかいろいろあります。とはいえ計画を立て、規則正しい生活をするのが大事になります。

また、夏休みは毎日家庭で過ごすことになります。生活習慣の確立、ルールやマナーの訓化などは夏休みこそできることかもしれません。

- 基本的な生活習慣の確立を
朝6時に起きる、顔を洗う、朝食をとる、夜10時には寝るなど毎日のリズムカルな繰り返しが健康や学力向上にもつながります。
- マナーや礼儀作法を
あいさつをする、会釈をするなど他の人と接するときは丁寧な対応が求められます。他人に迷惑をかけない言動が大切です。
- 家事手伝いを
毎日、責任ある家事を分担している子は、自然に集中力も責任感もついてきます。家庭生活を支えていく上で、なくてはならない一員だという誇りも生まれます。家事手伝いは、家族の間のつながりを強め、思いやる心を育てます。人の立場がわかること、人を大切にすることにもつながります。
- 家庭のルールを
子どもは家庭での約束事やルールを守ったり破ったりしながら、社会のルールの大切さを学んでいきます。家庭でよく話し合っ一貫性のあるルールをつくり、親子で守っていく中で、子どもたちにルールがなぜ必要なのかを実感させることが大切です。
- 間違った行いは指導を
子どもは初めに家庭の中でしてよいこと、してはいけないことを学んでいきます。間違った行いには、何がいけないか理由をきちんと伝え、愛情をもって本気で叱り、逆に良い行いには心からほめる言葉をかけることが大切です。
- 家庭学習習慣の確立を
学校で学習したことは、その日に復習しなければ確かな学力として身に付きにくいものです。また、家庭で学習する習慣をつけることが大切になります。子どもが自らの未来を見据え、展望をもち、意欲をもつことができるよう話をしてください。勉強するのはよい点をとることだけが目的ではありません。将来、就きたい仕事ややりがいのある仕事をするための力をつけるために、いろんなつらさに耐えて勉強し、働くことの基礎を築くこともその一つです。



夏休みは、生命に関わる事故や様々な危険・誘惑も多く見られます。「自分や他の人の生命に関わること」や「決してしてはいけないこと」などについては、厳しく戒め、自律ある生活が望まれます。夏休みの過ごし方について親子で話し合ってみてください。また、夏休みこそできることは病気等の治療もあります。養護教諭から治療を勧められていましたら夏休み中に治療に行かせてください。特におし歯の治療を夏休みには始めてください。

県大会に出場する野球部とサッカー部、男子バスケットボール部、陸上、空手、新体操、そして吹奏楽部の健闘を祈ります。

7/21～8/31は「水難事故防止運動強調期間」です